



スマイル スマイル

院内報 No.2 2019年3月1日発行
スマイルキッズクリニック
〒750-1143
下関市小月駅前一丁目2番43号
☎083-281-1000

院長コラム



先日、岡山市で開催された学会に出席した際に撮影した桃太郎像です。皆さんご存知のように、「桃太郎」は日本五大昔話の一つであり、桃から生まれた桃太郎が犬、猿、キジを連れて鬼ヶ島に行き、鬼を退治する物語です。岡山県は香川県、愛知県と並ぶ桃太郎三大伝説地の一つです。岡山県の名物土産として吉備団子が有名なため、桃太郎と言えば、岡山県が真っ先に思い浮かぶ方も多いの

ではないでしょうか(実際は物語に出てくる黍(きび)団子=吉備団子ではありませんけど)。時代の流れもあり、教育上観点から、桃太郎の鬼退治を暴力的行動と捉え、話し合いにより解決するという現代風の解決策に置き換えた「桃太郎」も出てきています。物語冒頭のフレーズ「お爺さんは山に柴刈りに、お婆さんは川に洗濯に」も昨今の男女の役割を考えると、見直す時期に来ているのかもしれない。

院長 茶堂 宏

こども百科「これ知っちゃる??」

今回はQ & A形式で「アレルギー性鼻炎と舌下免疫療法」に対する理解を深めていただきます。

Q: アレルギー性鼻炎にはどんなタイプがあるの?

A: スギ、ヒノキ、カモガヤなどのアレルゲン(アレルギーの原因となるもの)となる樹木や草花の花粉が飛ぶ季節に発症する季節性アレルギー性鼻炎、ハウスダスト、ダニなどのアレルゲンにより一年中発症する通年性アレルギー性鼻炎があります。

Q: アレルゲンはどんな検査で分かるの?

A: 血液を採って、アレルゲンに対する抗体の量を調べる「血清抗体検査」(当院で検査可能)、アレルゲンエキスを皮膚内に少量入れて、皮膚の様子から判断する「皮膚反応テスト」があります。

Q: アレルギー性鼻炎に対する治療法は?

A: 通常くしゃみ、鼻水、鼻づまりといった鼻炎症状を薬で使って和らげる「薬物療法」を行います。これとは別にアレルゲンを含む治療薬を少量から投与して、体をアレルゲンに慣らして、長期にわたって症状を和らげたり、抑えたりする「アレルゲン免疫療法」があります。後者には治療薬を皮下に注射する従来か

らの「皮下免疫療法」と、治療薬を舌の下に投薬する新しい治療法の「舌下免疫療法」があります。

Q: アレルギー性鼻炎を放っておくことによるデメリットは?

A: 鼻炎症状による睡眠障害、集中力の低下、イライラ感などにより生活に支障を来します。鼻炎症状のあるお子さんは、学業成績が劣っているとの報告もあります。

当クリニックではスギ、あるいはダニが原因のアレルギー性鼻炎をお持ちの5歳以上のお子さんに対して、「舌下免疫療法」を行っています。治療薬を少量から始めて増やし、一定量を3~5年に渡って1日1回服用します。根気強い治療が必要ですが、一番のメリットは痛みもなく、自宅での治療が可能だということです。最初の1か月間は副作用として口の中の腫れや、痒みが出ることがありますが、「皮下免疫療法」に比べて全身のアレルギー症状が出現する可能性が極めて低く、安全性の高い治療法です。

院長 茶堂 宏





注射絆に込めた私達の思い



私たちのクリニックでは、開院当初からずっと続けることがあります。それは予防接種や血液検査の後に貼る注射絆に、クリスマス、ハロウィンなどのイベントものやキャラクターなどのイラストを手描きで描いていることです。子供たちが注射嫌いにならないようにとの思いから、スタッフが一枚一枚心を込めて描いています。この注射絆で私たちの思いが子供たちへ届くことを願っています。（大田）



自然の中で育む力



春の足音がだんだんと近づいてきました。

みなさんは「草笛」や「シロツメクサの髪飾り」を作って遊んだことがありますか？

私が子供のころは、おもちゃで遊ぶよりも、自然のものを利用し、試行錯誤しながらなんでも遊び道具に変えていました。自然の中で遊ぶと「探求心」や「創造力」が身に付きます。それらの力は、子供たちがたくましく成長するための礎になるのではないのでしょうか。

これから暖かくなります。今の時代は身近に自然が少ないので難しいかもしれませんが、いつもより自然の中で遊ぶ機会を増やしていけたらいいですね♪（大田）



かみさまとのやくそくを観た感想



2月3日(日)に下関市生涯学習プラザで「かみさまとのやくそく」上映会+池川明先生の講演会がありました。胎内記憶やそれ以前の中間生記憶といった少し不思議な世界のお話でした。子供はお母さんを選んで来るそうで、一途にお母さんの幸せを願っているそうです。

私はまだ子供はいませんが「私たちはあらかじめ自分で計画してきた筋書きの冒険を楽しむために地球にやってきている」というお話が印象的でした。今まで人生思い通りでないこともありましたが、それが、生まれる前に計画してきたことかもしれないと思うと気持ちが楽になりました。（城山）



お花見で思い出作り



厳しい寒さも少し緩み、時に春の日差しを感じ、新緑の芽吹く季節がとても待ち遠しく、桜の季節がもうそこまできています。

春は卒業式、入学式の季節です。子供たちの人生の節目には、いつも桜の光景があり、桜と共に時を重ねてきたように思います。桜の木々の成長が、子供の成長の記憶と重なり、特別な感情がわいてきます。

そろそろお外で散歩も楽しめそうです。花見の季節には、ご家族でお弁当を持って、思い出の1ページを残されてはいかがでしょう。（城山）



菊川の桜



おすすめの本の紹介



14ひきのシリーズから『14ひきのびくにつく』
いわむら かずお 作・絵
発行所：童心社

14匹のねずみの家族がおべんとうを作って、みんなで春の野原へピクニックに出かけるお話です。

キャラクターもかわいく、ほのぼのとした世界を堪能できます。いろいろな生き物や、春の植物もとてもきれいに描かれています。身近な草花もたくさんあり絵本の隅から隅まで楽しめます。春にぴったりな1冊です。待合室にも置いてますので、ぜひ読んでみてください！！（城山）



編集後記

第1号を多くの方にご覧いただきスタッフ一同ほっとしています。第2号は自然をテーマに編集しました。まだまだ肌寒い日が続きますのでお体に気を付けてお過ごしください。（大田・城山）

